

# 宮城県栗原市

## 1. 本地域の紹介

本地域の環境	農村	「子供の農山漁村体験交流計画」の有無	無
アクセス	□車の場合:仙台市～栗原市まで東北自動車道を利用して約1時間 □電車の場合:東京駅からくりこま高原駅(最寄駅)まで約2時間、仙台駅からくりこま高原駅まで約30分 仙台駅から瀬峰駅(最寄駅)まで:約1時間		
本地域の概況	□宮城県の北部、岩手県と秋田県との県境に位置し、宮城県内でもっとも広い面積を誇ります。 □市内全域が栗駒山麓ジオパークとして認定を受けています。 □人口 約65,000人(令和3年1月現在) □稲作を中心に、農業が本市の基幹産業となっていますが、担い手が不足しています。 □農業の法人化などにより、基幹産業の維持・発展を図っています。		



## 2. 令和元年度における「子供農山漁村体験交流」の受入実績

①学校教育による受入校数					②社会教育による受入件数		③自治体連携による交流先	
小学校	0校	中学校	0校	高等学校	0校	0件	無	

※③:2つの自治体間で「子供農山漁村体験交流に取り組むこと」を合意し、「送り手側と受入側の役割」を分担して実施した取組

## 3. 本地域で提供できる体験・交流メニューの紹介

### メニュー1:しめ飾り体験

体験の分類	その他(モノづくり)		
実施概要	稲わらを材料にしめ飾りを一人一本つくる。		
対象学年	小学生高学年・中学生・高校生		
実施環境	屋内	時期	通年
所要時間	2時間	最大受入可能人数(人)	30人
最低価格	1,650円(税込)/1名		



### メニュー2:田植え

体験の分類	農業		
実施概要	有機農業の圃場で田植え。		
対象学年	小学生低学年・小学生高学年・中学生・高校生		
実施環境	屋外(雨天中止)	時期	5月～6月
所要時間	2時間	最大受入可能人数(人)	30人
最低価格	2,200円(税込)/1名		



### メニュー3:稲刈り

体験の分類	農業		
実施概要	有機農業の圃場で稲刈り。		
対象学年	小学校低学年・小学生高学年・中学生・高校生		
実施環境	屋外(雨天中止)	時期	9月～10月
所要時間	2時間	最大受入可能人数(人)	30人
最低価格	2,200円(税込)/1名		



### その他の交流・体験のメニューの紹介

屋外で実施するメニュー	桃の収穫
屋内で実施するメニュー	もちつき体験
屋内・屋外で双方で実施できるメニュー	
体験・交流メニューの紹介サイトのURL	<a href="http://ktnpr.com/">http://ktnpr.com/</a>
モデルプランの紹介サイトのURL	

## 4. 本地域における「子供農山漁村体験交流」の受入体制

### (1)受入対象

教育種別	学校教育・社会教育	学年別	小学生低学年・小学生高学年・中学生・高校生
------	-----------	-----	-----------------------

### (2)受入可能な期間

日帰り	要相談	1泊2日	要相談	2泊3日	要相談	3泊4日	要相談	4泊5日以上	要相談
-----	-----	------	-----	------	-----	------	-----	--------	-----

### (3)手配できる交流先の候補

受入時のスタッフ	可	ホームステイ先	可	地域内の小学校	要相談	地域内の中学校	要相談
地域内の高等学校	要相談	その他					

### (4)1回当たりの宿泊定員(人)

ホームステイ(受入家庭先への分泊)	本地域のみで受け入れる場合 15人 近隣地域と連携して受け入れる場合 30人
集団宿泊	青少年教育施設 400人 民間宿泊施設(ホテル・旅館・民宿等)30人
キャンプ場・コテージ等	キャンプ場 30人 コテージ30人

### (5)安全面と事前交流・事後交流の対応

①「地域内での緊急連絡体制(医療機関、消防署、警察、行政等)」の整備	整備済
②「本地域・近隣地域にある24時間診療可能な医療機関との連携体制」の整備	未整備
③「受入関係者向けの安全管理基準(ガイドライン、マニュアル等)」の策定	整備済
④「感染症拡大予防ガイドライン・マニュアル等」の策定	整備済
⑤「アレルギー・障がい等を抱える子供への配慮」の対応	要相談
⑥受入窓口による「体験・交流中の傷病・事故・災害等発生時の連絡・調整」の対応	要相談
⑦「対面・オンラインによる地域人材との事前・事後交流、講義等」の実施	要相談

## 5. 本地域での「子供農山漁村体験交流」に係るお問い合わせ先

子供農山漁村体験交流の受入窓口	栗原市農泊推進協議会		部署名	
	団体構成	栗原市内で観光や農業を9団体、農家民宿・民泊事業者や地域おこし協力隊の6個人で構成されています。事務局:(一社)くりはらツーリズムネットワーク、くりはらファーマーズプロジェクト、栗原市観光物産協会、栗原市(農林振興部農業政策課)、(一社)はなやまネットワーク、特定非営利活動法人帰園田居創生機構、特定営利活動法人 旧奥州街道有壁宿助郷の会、六日町合同会社、文字地区コミュニティ推進協議会		
	TEL	090-4889-5310	E-MAIL	<a href="mailto:kurihara.tn@gmail.com">kurihara.tn@gmail.com</a>
	住所	〒989-5504 宮城県栗原市若柳上畑岡敷味45番地		
	URL	<a href="http://ktnpr.com/index.html">http://ktnpr.com/index.html</a>		
自治体の担当部署	部署名	①農林振興部 農林畜産課(グリーンツーリズム全般) ②農林振興部 農業政策課(農泊)	E-MAIL	① <a href="mailto:norin@kuriharacity.jp">norin@kuriharacity.jp</a> ② <a href="mailto:nosei@kuriharacity.jp">nosei@kuriharacity.jp</a>
	TEL	①0228-22-1136 ②0228-22-1135	URL	<a href="https://www.kuriharacity.jp/index.html">https://www.kuriharacity.jp/index.html</a>